２０１７。３．２９

大草

2017.3.29定例会　検討資料

2017.2.19小林さん作成の骨子　項番7、項番８についてのメモ

７．日本の文化と心理的要因に着目したコンプライアンスのあり方

・道義国家の精神的な構造と国家による教育の推進？

　右翼ではなく、左右に偏らない国家を目指すための教育方針が必要ではないか。教育基本法を基にした教育方針を国家として策定することも必要と思う。

・恥の文化をうまく活用する

・内と外を区別する文化をベースとして、外により関心を向ける政策をとる

・武士道精神のエキスを再度国民的レベルで認識する

・神仏に頼り、苦しいときの神仏頼みする弱い信仰心

・寛容の精神の一層の浸透

・制度や法令規則等でなく、心に訴えるコンプライアンスが求められている

・直接的でなく、間接的な方策が結局、コンプライアンス違反防止につながる

８．日本の文化と心理的要因を考慮した内部通報制度のあり方

・内部通報は、後ろめたい物があるとの意識の変革

・企業と人の社会的責任を明らかにして、内部通報に正当性を与える

・恥の文化、汚名をそそぐ、名誉挽回の思想を活用する。

・通報者への報復行為の禁止の確保を徹底する、また成果に対する報償も検討

・かくすれば　かくなるものと　知りながら　止むに止まらぬ　大和魂の精神

以上